

2026年5月21日
日本パペットセラピー学会第20回大会実行委員会

日本パペットセラピー学会第20回大会のご案内

大会テーマ：「パペットが映し出す心の声 ～感情表現を助けるパペットセラピー～」

日時：2026年11月1日（日）10時00分～17時20分

（総会 17時30分～18時10分）

場所：東京科学大学 蔵前会館1階 ロイヤルブルーホール

東急目黒線・大井町線「大岡山」駅 徒歩1分

大会参加費：会員2,000円、非会員3,000円、学生500円

参加登録については7月にご案内します。

問い合わせ先メールアドレス：第20回大会実行委員会 japuppet2026@gmail.com

<大会スケジュール>

【学術大会】

9時30分～ 受付

10時00分～10時10分 開会のあいさつ

10時10分～11時30分 教育講演（市民講座） 脳科学者 恩蔵絢子氏

休憩60分

12時30分～13時15分 大会長講演（45分）

休憩5分

13時20分～14時05分 口頭発表

14時05分～15時05分 ポスター発表

休憩10分

15時15分～16時25分 シンポジウム「パペットセラピーにおける感情」

16時25分～16時50分 パペットでの感情表現の実習

16時50分～17時10分 「パペットセラピーにおける感情」全体での分かち合い

17時10分～17時20分 閉会のあいさつ、写真撮影等

休憩10分

17時30分～18時10分 総会（40分 会員のみ）

【教育講演】（市民公開講座）

大会中 10時00分～11時30分

「認知症の母の介護で脳科学者が気づいた大切なこと
～重度認知症のある人の豊かな感情～」

講師：恩蔵絢子氏

講師プロフィール：脳科学者。東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。金城学院大学、早稲田大学、日本女子大学非常勤講師。1979年、神奈川県生まれ。2007年、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了(学術博士)。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』（河出書房新社 2018）、『感情労働の未来』（河出書房新社 2025）、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りがるのか』（永島徹氏との共著、中央法規出版 2022）などがある。2023年には認知症の母親との家で時間に密着したドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映され、大きな反響を呼んだ。

<参考> <https://www.nippon.com/ja/japan-topics/c15001/>

「認知症＝もう駄目だ」ではない：母を介護した脳科学者が語る「一筋の希望」
2025年3月14日掲載 より抜粋

【研修会（ソックスパペット作りワークショップ）】（非会員参加可）

日時：大会翌日 11月2日（月）10時～12時

場所：東京科学大学 蔵前会館 3階 手島精一記念会議室

講師：岡信行

参加費（材料費）：会員・学生 1500円、非会員 2,000円

定員：40名（先着順）

申し込みについては7月にご案内します。